

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	家族と職員の会話の量は多いが、それぞれの家族の立場に合わせた情報のやりとりにおいては、至らない点がある。	顕在化されていない家族の求めを整理し、双方が情報交換しやすい仕組みや工夫を形にする。	・家族の知りたいことや特に要しない情報などを調査し、その結果にふさわしい方法・仕組みを実現する。	6ヶ月
2	35	震災経験を活かした防災マニュアルの作成が進んでいない。	発生が想定できる災害内容を明確にし、事業所内だけでなく近隣住民との連携も含めた、実効性のあるマニュアルを作る。	・全員避難を想定した準備物や手順を決める。 ・運営推進会議などで意見や要望を聞きながら、管理職、防災委員、各棟で分担して防災マニュアルを作成する。	3ヶ月 12ヶ月
3	33	終末期のケアについて、経験や心構えが十分でないスタッフがあり、その教育等が必要である。	終末期ケアについての理解を深め、利用者の尊厳を守るチームケアの質を高める。	・棟会議などで、終末期ケアがチームで行える事を目指す時間を設ける。また、利用者の望みに近づけるようなケアを計画担当者が中心となって進めてゆく(ケアマネジメントの徹底)。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。